

第60期 株主レポート

第2四半期

OKADA Report

平成30年4月1日 ~ 平成30年9月30日

オカダ アイオン 株式会社

証券コード：6294



株主の皆様へ

Top Message

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資・輸出の持ち直し等により企業収益や雇用所得環境が堅調に推移し、緩やかな回復基調が持続いたしました。また、世界経済は先進国を中心に堅調を維持いたしました。一方では米中貿易摩擦の影響や米国利上げに伴う新興国経済への影響、地政学リスク等により先行き不透明感が高まる状況となりました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、油圧ブレーカ、林業機械、環境関連機器等の販売に注力いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,773百万円（前年同期比30.1%増）、営業利益888百万円（前年同期比26.0%増）、経常利益917百万円（前年同期比29.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益573百万円（前年同期比39.6%増）と増収増益を確保し、通期での9期連続増収、過去最高売上・最高利益達成に向けて順調に推移しています。

引き続きグループ一丸となり更なる成長と企業価値向上に向けて鋭意努力してまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

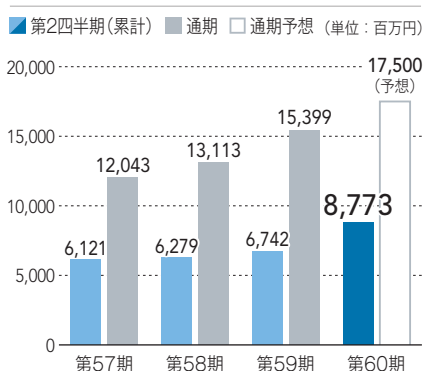


代表取締役社長 菊田 俊幸

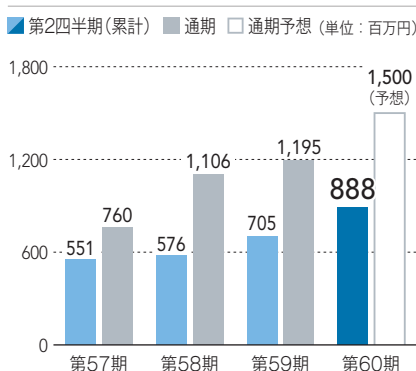
財務ハイライト

Financial Highlights

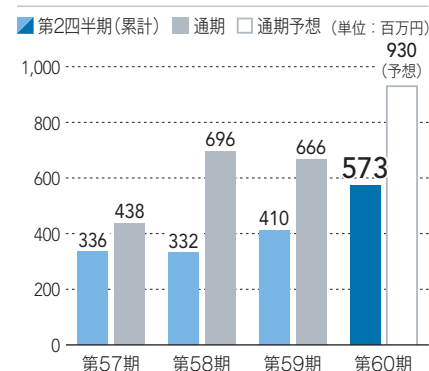
売上高



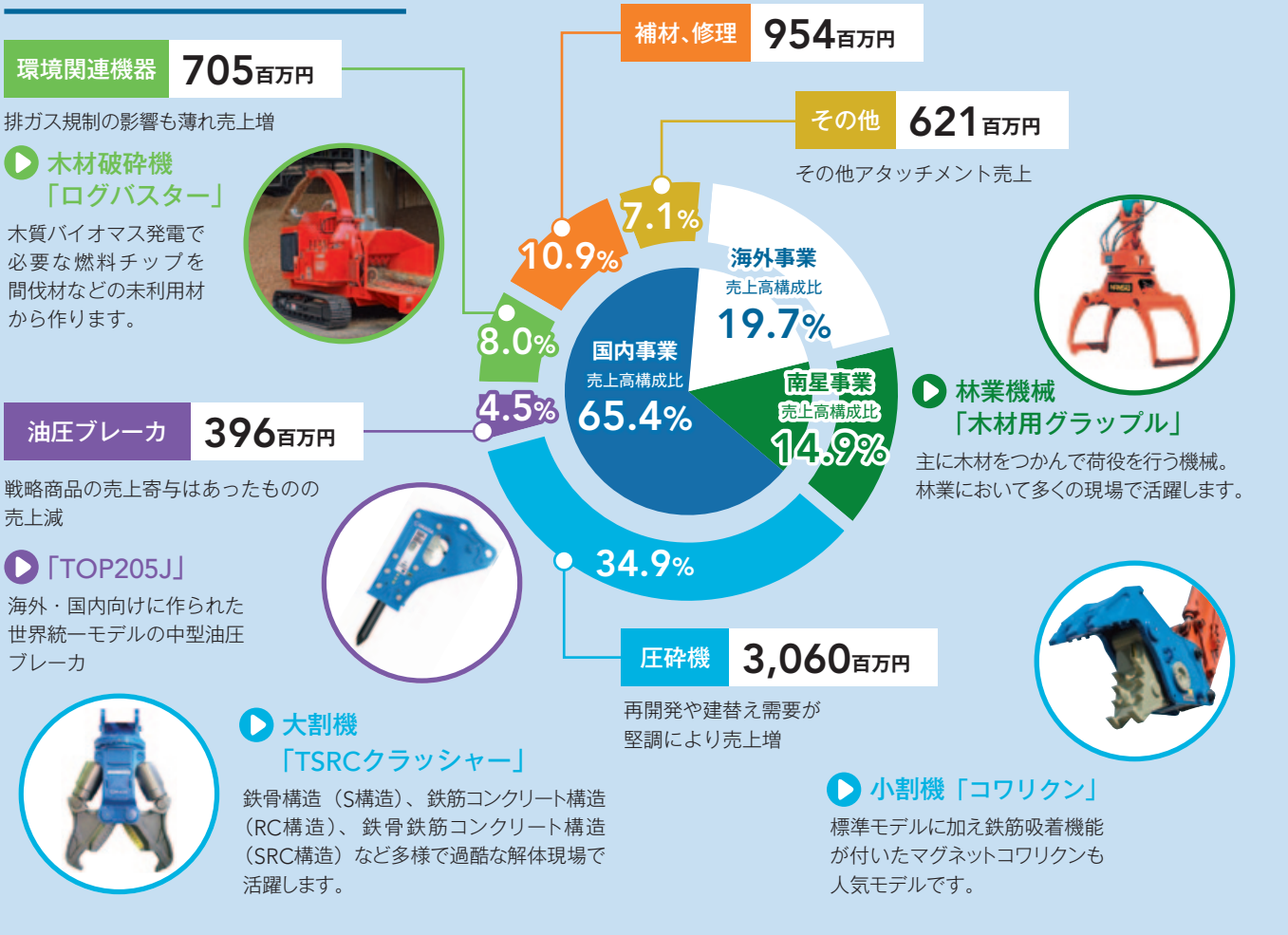
営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



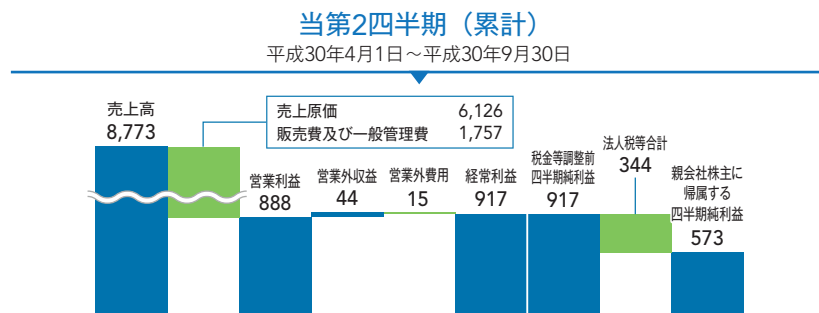
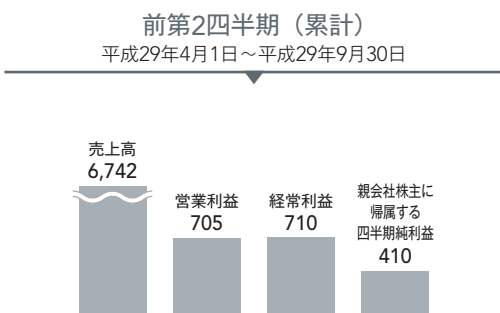
セグメント別・品目別の概況



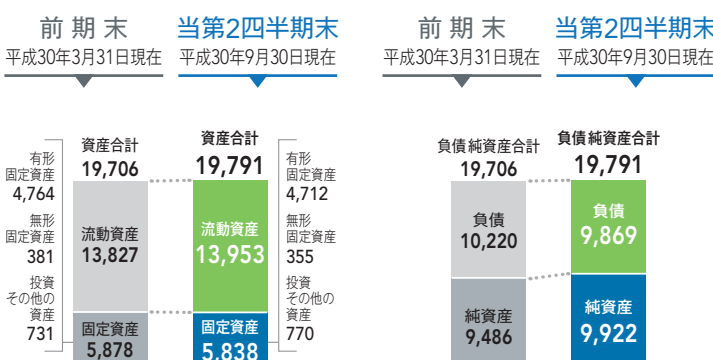
連結財務諸表（要約）

Consolidated Financial Statements

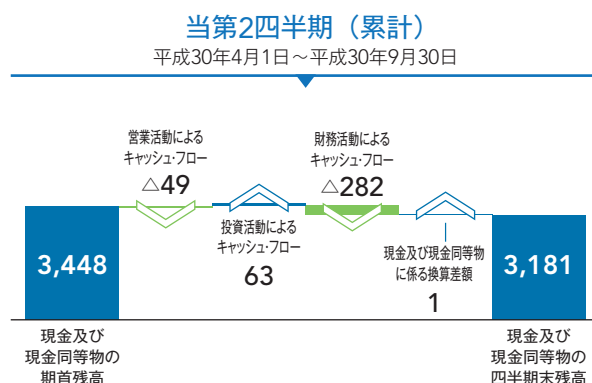
■ 四半期連結損益計算書（単位：百万円）



■ 四半期連結貸借対照表（単位：百万円）



■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

America <オカダアメリカ>

3拠点

オレゴン・オハイオ・テキサス



■ 主な営業エリア アメリカ全土

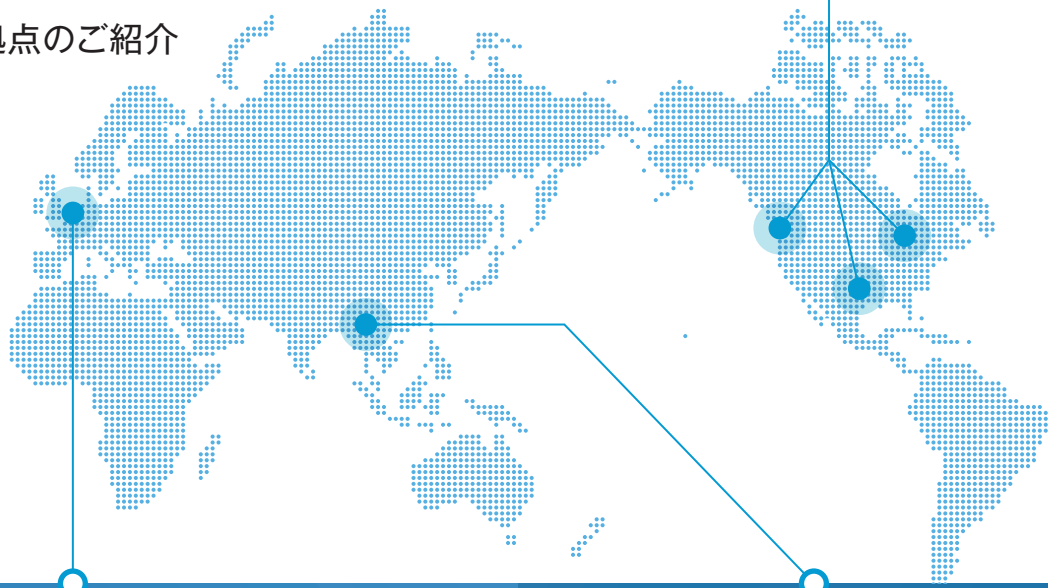
アメリカでは土木工事・砕石、建物解体などで本製品が活用され、汎用性の高い中大型の油圧ブレイカが主力商品となっています。今後はアメリカでも環境問題やリサイクル問題に関する機械が求められていく為、オカダアイオン本社と連携し市場ニーズを捉えた新商品を開発・投入しシェアの拡大を図っていきます。

サウスダコタ州のキャニオンロッジで行われたセールスマーケティングの様子です。オカダアイオン本社の社員も参加し、今後の営業戦略や新商品のプレゼンテーションなどが行われました。



北米の砕石場での現場作業風景です。国内とは違い大型の油圧ブレイカが活躍します。機械の性能やデザインもアメリカ仕様になっています。

■ 海外事業拠点のご紹介



Europe <オランダ駐在員事務所>



■ 主な営業エリア ヨーロッパ25カ国 (ドイツ、イタリア、フランス等)

2017年8月にオランダ・ロッテルダム市にオランダ駐在員事務所を設立いたしました。新規ディーラーの獲得や既存販路の拡大等のサポート活動を順調に進めています。

ヨーロッパ各国の展示会に油圧ブレイカ・圧砕機を出展し当社製品をPRしております。他にもヨーロッパ市場向けの圧砕機の新商品の開発・投入を行い売上に寄与しています。今後も最大マーケットであるヨーロッパ市場の開拓を進め、販売体制を強化してまいります。

イタリアの販売代理店へ表敬訪問した際に撮影した写真です。終始和やかに交流することが出来、当社の商品の魅力を伝えることが出来ました。



ドイツでトラックの集配センターの事務所の解体現場です。ORC280AVHRという圧砕機でヨーロッパ地域では主力製品となっています。



Asia <海外事業所>

■ 主な営業エリア 東南アジア、南アジア (タイ、インド、シンガポール等)



アジア地域の解体現場は様々あります。タイやインドでは砕石場や炭鉱場、シンガポールでは公共団地や高層ビルなどで当社の製品が活躍しています。アジアでは主に価格を抑え、汎用性の高い油圧ブレイカokadaシリーズの商品を投入しています。価格と品質のバランス、購入後のアフターサポートにお客様から定評を得ており、アジア各国ではOKADAブランドは高く評価されています。今後も安定した部品供給や修理指導などのアフターフォローを高め、他社との差別化を図りアジア市場での売上を伸ばしていきます。

インドで行われた展示会「EXCON」へ出展した際の写真です。主力商品となるokadaシリーズの油圧ブレイカを出展いたしました。販売店の方へ実際の機械を見せながら商品をPRすることが出来大変好評を頂きました。

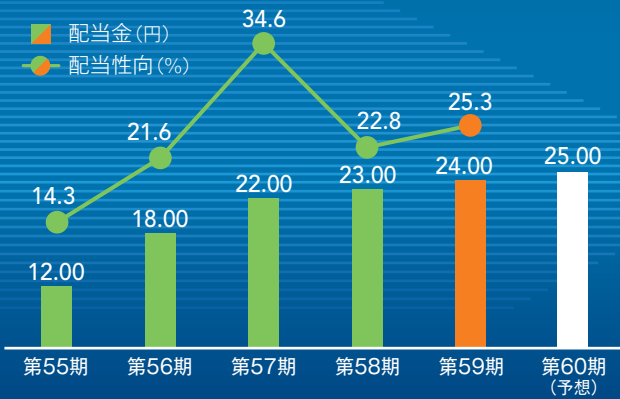


日本政府開発援助の無償資金協力事業として機材の引き渡しが行われ、記念式典が開催されました。その際に油圧ショベルやコンプレッサーがブータン国へ納入され、当社は油圧ブレイカ「TOP-203B」を30台納入しました。



株主還元

配当金・配当性向の推移



配当性向30%・DOE3%に向けて増配を目指してまいります。

株主優待制度

権利確定日	保有株式数	内容
平成31年 3月31日	100株以上	クオ・カード1,000円分
	200株以上	クオ・カード2,000円分
	500株以上	クオ・カード3,000円分

会社の概要 (平成30年9月30日現在)

商号 オカダアイヨン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION
本社 〒552-0022 大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281
設立年月日 昭和35年9月1日
資本金 2,221百万円
従業員数 197名

主要な事業内容

- 油圧ブレーカ TOPシリーズ、TOP-Vシリーズ、超低騒音TOP-Sシリーズ
- 圧碎機 TS-WBクラッシャー、TSRCクラッシャー、TS-Wカッター、TS-Sカッター、カットクンコワリクン、マグネットコワリクン
- 環境関連機器 ビッグバス、ログバスター、タブグラインダー、ウッドホグ、トロンメルスクリーン、サイレントアマダス、アイヨン与作プラント関連機器

主要な営業所

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所・横浜営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所・東京オフィス・海外事業所・オランダ駐在員事務所

オカダアイヨングループ

株式会社アイオンテック・Okada America, Inc.
株式会社南星機械・株式会社南星ウインテック
暁機工株式会社

役員 (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長	刈田俊幸
常務取締役	岡田祐司
常務取締役	前折信男
取締役	折尾卓二
取締役	山口耕和
取締役	川島照政
取締役	岡本富浩
取締役	古田均生
常勤監査役	打田幸正
監査役	稲中尾正毅

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
(当社は中間配当制度を採用しておりません。)
上記のほか必要と認めるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

事務取扱場所 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル)

インターネット <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
アドレスは、<http://www.aiyon.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

大株主 [上位10名] (平成30年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	707	8.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	455	5.61
岡田勝彦	369	4.55
岡田眞一郎	348	4.29
極東開発工業株式会社	300	3.69
株式会社三井住友銀行	242	2.99
株式会社三菱UFJ銀行	220	2.71
株式会社南星	200	2.46
株式会社テイサク	185	2.28
MSIP CLIENT SECURITIES	184	2.27

(注) 持株比率は、自己株式(256,871株)を控除して計算しております。

オカダ アイヨン 株式会社

<http://www.aiyon.co.jp/>

